意見・要望等	
市政・財政	
財政に関する情報を牛久市のホームページから見たが、難しく複雑でわからない。市民にもわかりやすい形での周知を。	
市の補助金がどう使われているのか。交付された先の用途の公開が必要。	
市内の高齢化がすすんでいる。若い人々の定住をすすめるための未来ビジョンを提起してほしい。	
牛久市の将来の実力は、現在牛久市に住みたいという人の多さと、実際の人口動向によって把握できる。そのためには市基本計画で「田園都市をめざす」というような、判りやすいビジョンを示して対応していく必要がある。	
ひたち野地区は、まわりに工業団地、研究施設があり、都内にも通えることから、人が集まっている。一方で、公園など子どもが集まる場所がなく、市外に遊びに行く状況である。これでは市への愛着がわかず、子どもが大きくなったら(特に5歳以下の小さい子)外へ出て行ってしまう。牛久で子育てをするメリットがあるように地域づくりを行ってほしい。	
牛久市周辺には企業がたくさんあり、最近ではリモートワークも進んでいるのでベッドタウン化に注力したほうがよいと思う。	
牛久市には大きな企業がないことが問題。企業誘致はどうなっているのか。	
人口減少対策として企業誘致以外の方法はないのか。市の観光資源「牛久シャトー」などを活用してはどうか。	
もっとイベントを開催するべきである。	
行政区の困りごとがあるがうまくいかず、市役所職員に相談しても、「前例がない、規則がない」と言われる。「市長への手紙」やタウンミーティングで意見を述べても「前例がない、規則がない」に加えて「職員の同意がない」という理由でうまくいかない。	
交通	
バス運転手不足を補うため、茨城県境町では無人自動運転バスがある。検討を。	
道路・環境	
道路の清掃をしてほしい。	
通学路の整備、樹木の繁茂などができていない。弱者にも優しい道路にしていきたい。	

牛久駅の点字ブロックの上に駐輪されていることが多いので、改善してほしい。

絶滅危惧種などを守る取り組みを。

アヤメ園ほったらかし。桜の木を切ったため美観がよくない。税金の無駄使いでは。

空き家を解体して畑にしては。

教育・文化

おくの義務教育学校について、小中一貫よりも中高一貫の方がよいと個人的に思っている。学校建設に38億円かかるそうだが、その財源は将来世代の負担にならないのか。

市民文化祭について、展示ホールで多目的ホールが使えない、パネルが使えないなどの制約ができた。予算が減っていて、文化祭の周知も少なくなり市民の入りも少ない。

習い事で教育格差を生まないため、牛久市として習い事をやって欲しい(大人や子ども)。

重要文化財のようなもので、お祭りなどを保存していく取り組みが必要。

子育て・福祉

共働きで子育てをする世帯を応援する取り組みが必要。もしもの時に子どもを見てもらえるようなセーフティーネットが欲しい。ファミリーサポートも車での送迎ができないなどの制限がある。地域でのつながりが欲しいが、日曜日に開催している子育て支援の取り組みがない。親子で地域と繋がれる場を作って欲しい。土日に行っている一時保育がない。

子育ての情報が市のHPにあるが、その先の例えば保育園の情報などが詳しく掲載されたものがない。その保育園がどんなことをしているのか、気になる。ある市ではフリーペーパーがあり詳しく掲載されているので、そのようなものがあるとよい。

ヤングケアラーへの対応について、具体的なスケジュールなどがあれば教えてほしい。

議会

行政区での課題があり、担当課に相談すると、前例がない、規則がないと取り合ってもらえない。市長への手紙やタウンミーティングでも同様な回答。議員に相談したいと思うが、議員の得意分野など、普段からどのような取り組みをしているか分からず、どの議員に相談したらよいか分からない。議会に相談する窓口のようなものが欲しい。

執行部のチェック。議員がビジョンを持って高めるようにしてほしい。新人に期待している。先輩がリーダーシップを取って。

議員の政策活動などを発信するブログ、ホームページなどを公開してほしい。